

十三健康かわら版

平成27年7月 / 第30号

診療科紹介 < 消化器内科 >

消化器内科部長 青木哲哉

消化器内科は食道・胃から大腸・肛門までの消化管と、肝・胆・膵の検査・治療を担当します。簡単にいうと、おもにお腹の病気を担当します。胸やけ・胃もたれ・腹痛・黄疸・下痢・血便・吐血・体重減少などが、お腹の病気と関係している症状です。なお、お腹の病気は症状が出ないことも多いため、検診結果などで肝機能や便潜血反応で異常が認められた場合も当科を受診してください。

当院は日本消化器病学会および日本消化器内視鏡学会の指導施設であり、関西のみならず全国でもトップクラスの診断、治療を行う医師が多数そろっています。併設された内視鏡センターでは胃カメラ、大腸カメラを内視鏡指導医・専門医が鎮静剤(眠くなるような薬)を使って行いますのでほとんど苦痛なく受けることができます。病院近隣の医院からも直接検査の予約ができますので、かかりつけ医がおられる方はご相談ください。また肝臓病においては3人の肝臓病専門医が、ウイルス性肝炎・肝細胞癌に対する最新治療を行っています。昨年7月より関西では珍しい脂肪肝専門外来も始めました。年に数回行われる肝臓病教室では慢性肝疾患や肝臓癌について医師、看護師、薬剤師、栄養士、理学療法士等が個々の疾患について分かりやすく説明しますのでぜひご参加ください。

内視鏡検査予定

検査日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	上部	上部		上部	上部
午後	下部	下部	下部		下部

上部とは、上部消化管(食道・胃・十二指腸)を指します。

下部とは、下部消化管(大腸)を指します。

平成27年度肝臓病教室のご案内

場所: 十三市民病院 9階 すかいルーム2
開催時間: 14時~16時

- 第1回(追加) 平成27年8月6日(木)
『目からうろこ! メタボと肝臓病の話』
- 第2回 平成27年10月1日(木)
『みんなが知りたい慢性肝炎の話』
- 第3回 平成28年2月4日(木)
『分りやすい肝硬変、肝臓がんの話』

病気や、食事、生活、薬のことなどを分かりやすく医師、看護師、薬剤師、理学療法士、管理栄養士が説明します。興味のある方はぜひ一度ご参加ください。

予約制(先着順)です。主治医にご相談ください。

5月25日開催 いきいき健康セミナー 「上手な薬の飲み方」

薬剤部副部長 小野 滋

今回のセミナーはお薬を飲むうえで注意しなければならないことを、お薬の「吸収、分布、代謝、排泄」・「血中濃度」の解説を通して説明させていただき、最後には服薬ゼリーの試飲会もさせていただきました。

たくさんの方のご清聴ありがとうございました。

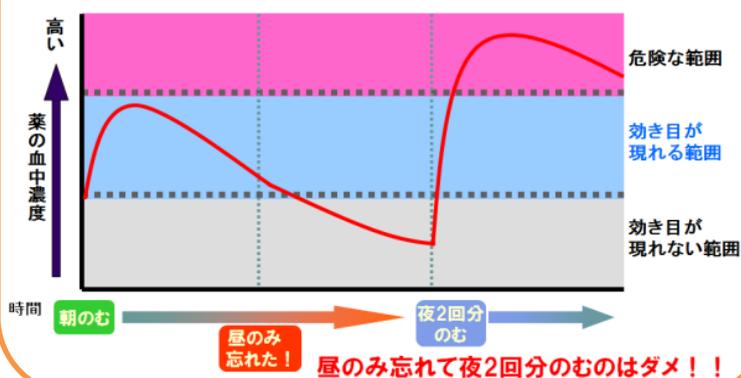
◆お薬は体内をどのようにめぐるのでしょうか。

一般的に口から入った薬は、おもに小腸で「吸収」され、血液とともに体中に「分布」し患部に運ばれます、そして主に肝臓で「代謝」されて、尿や便に「排泄」されていきます。ニューキノロン系、テトラサイクリン系の抗菌剤は牛乳で飲むと「吸収」が悪くなります。グレープフルーツジュースはカルシウム拮抗剤系の血圧降下剤の「代謝」を邪魔して効果を強くしてしまうことがあります。主に腎臓から「排泄」される薬は、腎臓の悪い方には量を減らす必要があったりします。

◆お薬の「血中濃度」って知っていますか。

血液中に入ったお薬の濃度を時間で追っていくと、吸収とともに増えていき、代謝排泄によ

薬の血中濃度(正しくない飲み方)



って減っていきます。お薬には効果が期待できない濃度、効果が現れる濃度、濃すぎて副作用が心配な濃度があるので、うまく効果が得られる濃度になるように1日に飲む回数、量が決められています。

服用方法をかえたり、忘れたから2回分を飲むというのは、副作用が出たりする恐れがあります。(左図)

◆処方箋の「有効期限」は何日でしょうか?

先生は患者さんの診察時の状態に合わせてお薬を処方しています。症状が同じだからといって以前にもらった薬を飲んだりしていませんか。まったく違う病気かもしれませんし、肝機能や腎機能が悪くなっていたりすると副作用が心配です。そのような意味でも「処方箋」には有効期限が4日間と決められています。診察をうけたら早めに「保険薬局」でお薬をもらいましょう。

看護の日フェア



5月12日(火曜日)に『看護の日フェア』を開催いたしました。今年度のスローガンは、“看護の心をみんなの心に”でした。『血管年齢測定』『血糖測定』『肌年齢測定』を行いました。そのほか『栄養相談』『嚥下体操』『AED 体験コーナー』を催し、参加者も多数ありました。今年度のイベントには、延べ 435 名の参加をいただきました。予想を超えた参加者の対応がスムーズに行かず、大変ご迷惑をおかけしましたことを、お詫び申し上げます。

【血管年齢測定コーナー】

日本人の死亡原因の 3 割を占めるのは脳卒中や心筋梗塞などの血管性疾患です。今年度取り入れた血管年齢測定コーナーは大人気で 76 人もの参加がありました。皆様の健康への関心の深さがわかりました。お一人に対する、測定時間が思ったより長くかかってしまいました。お待ちいただいた皆様ありがとうございました。



【AED 体験コーナー】

麻酔科医師・看護師・救急救命士により胸骨圧迫法や AED の使い方の個人指導を行いました 54 名の参加がありました。



【血糖測定・肌年齢測定コーナー】

血糖測定 115 名肌年齢測定 118 名の参加がありました。肌年齢は肌の水分量を測るコーナーでした。

【嚥下体操体験コーナー】

加齢とともに嚥下機能も低下してまいります。看護師による、嚥下体操(パタカ体操)を体験していただきました。30 名の参加がありました。いつでもできる体操です。ご自宅でも続けてください。

【栄養相談コーナー】

栄養相談コーナーでは 42 名のかたの相談をお受けしました。栄養士 2 名体制で、動脈硬化・脂質異常症・肝臓病・肥満などの食事について説明をしました。



今年度の看護の日フェアは、私たちの看護師の“看護の心がみんなの心に”お届けすることができた活気ある1日となりました。ありがとうございました。

開催のご案内

第2回 院内コンサート

7月14日(火) 午後4時～
歌とお芝居 音楽ボランティア
ソフィオーネ

当院1階整形外科待合前ロビー
参加費無料・事前申込み不要



いきいき健康セミナー

第4回 健康を保ち、要介護とならないために
「ロコモ予防体操」

～あなたのロコモ度チェック～

リハビリテーション科主査 清水 健治

7月22日(水) 午後2時00分～3時00分

開催場所 当院2階 集団指導室

参加費無料・申込不要

当院へのアクセス

電車

- ・阪急神戸線「神崎川」駅から
南東へ約8分
- ・阪急「十三」駅から
北西へ約12分

大阪市営バス

- ・JR大阪駅前～約20分
- ・阪急宝塚線三国駅前～約10分
69系統「榎木橋」行きで「十三市民病院」下車すぐ
69系統「大阪駅」行きで「十三市民病院」下車すぐ

初診の受付

月曜日～金曜日 午前8時45分～午前11時00分

診療科		月	火	水	木	金
内科		藤井	白石	日浦	今村	洲鎌
		井坂	松浦	/	/	呉家
		小松 (循環器)	中川 (循環器)	小松 (循環器)	中川 (循環器)	柴田 (循環器)
消化器内科		大庭	倉井	山口	青木	上田
小児科		平林	谷本	藤岡	平林	藤岡
外科		貝崎	堀	高塚	堀	高塚
		塚本	/	貝崎	/	枝川/梅野
整形外科	午前	伊達	月山	寺井	榎原	坂和
		月山	/	/	/	/
産婦人科		田中	交代制	森下	中田	本久
泌尿器科		安達	安達	交代制	河野	安達
		河野	河野	/	北本	北本
眼科		森脇	森脇	交代制	砂田	森脇
		三宅	洪里	/	三宅	砂田
耳鼻咽喉科		/	箕輪	松本	/	交代制
皮膚科		村上	前川	/	田口	/

【外来診療担当表】初診のみ掲載しています。

編集

大阪市立十三市民病院
広報委員会

〒532-0034

大阪市淀川区野中北2-12-27

代表電話：06-6150-8000



<http://www.osakacity-hp.or.jp/juso/>